





TOKYO IT SCHOOL

チーム開発演習 シェアードショップ 通販システム

プロジェクトの パッケージについて



目次

1	はじめに	2
2	パッケージー覧	2



1はじめに

本資料では、チーム開発演習で使用する編集用ソースコード内に予め配置されているパッケージにする細情報を掲載します。

どのパッケージがどのような用途で使用するためのものかを確認する際にご活用ください。

2パッケージ一覧

ルートパッケージ

当該プロジェクトでは下記パッケージの階層下に用途別でサブパッケージを配置しています。

jp.co.sss.shop

annotation

独自アノテーションの定義クラスを配置する。

bean

プログラム間のデータ転送用の Java Beans を配置する。

config

フィルタ、ページング処理などのための設定クラスを配置する。

controller

コントローラを配置する。

controller パッケージ下には用途別にサブパッケージを作成する。

controller.category

カテゴリ情報に関する操作を行うためのコントローラを配置する。

controller.item

商品情報に関する操作を行うためのコントローラを配置する。

controller.login

ログイン、ログアウト処理のためのコントローラを配置する。

controller.order

注文情報の操作を行うためのコントローラを配置する。

controller.user

ユーザ情報の操作を行うためのコントローラを配置する。



TOKYO IT SCHOOL

entity

エンティティクラスを配置する。

filter

フィルタクラスを配置する。

form

Form クラスを配置する。

repository

リポジトリを配置する。

util

定数管理用クラス、JPQL管理用クラス、その他複数のクラスで利用される汎用クラス全般を配置する。

validator

独自入力チェック処理の定義用クラスを配置する。 annotation パッケージ内の独自アノテーションの定義クラスと紐付けて利用される。

